

スコアシート		重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目		重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能										3.2	
Q-1 室内環境							0.40			3.5	
1 音環境						2.2	0.15	3.2	1.00	3.0	
1.1 騒音					外部T-1サッシ＋内部サッシでT-2以上の遮音を確保している TLD-60以上の界壁遮音を設計している LL-45性能を確保した床材を使用している（スラブ厚200mm）	3.0	0.40	3.0	0.29		
1 1 暗騒音レベル				3.0		1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策											
1.2 遮音				1.0		0.40	4.4	0.50			
1 1 開口部遮音性能				1.0		1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0			5.0	0.30			
3 界床遮音性能（軽量衝撃源）							4.0	0.20			
4 界床遮音性能（重量衝撃源）							3.0	0.20			
1.3 吸音				3.0		0.20	1.0	0.21			
				1.0		0.35	3.8	1.00			3.3
2 温熱環境						1.0	1.00	5.0	0.71		
2.1 室温制御				省エネルギー等級4を確保している。							
1 1 室温設定											
2 負荷変動・過熱制御性											
3 外皮性能		W			1.0	1.00	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性											
5 温度・湿度制御											
6 個別制御											
7 時間別空調に対する配慮											
8 監視システム											
2.2 湿度制御							1.0	0.29			
2.3 空調方式											
3 光・視環境					2.0	0.25	3.8	1.00	3.4		
3.1 昼光利用				開口部を大きくとり昼光率を確保している。 東面、南面に採光窓ある。	1.8	0.30	4.6	0.50			
1 1 昼光率					1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口							5.0	0.30			
3 昼光利用設備		W			3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.50			
1 1 遮光器具のグレア											
2 昼光制御		W			1.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度					3.0	0.15					
1 1 照度					3.0	1.00					
2 照度均斉度											
3.4 照明制御				3.0	0.25						
4 空気質環境					4.2	0.25	4.0	1.00	4.0		
4.1 発生源対策				床・壁・天井材に全てF☆☆☆☆建材を使用している。	5.0	0.60	5.0	0.63			
1 1 化学物質汚染					5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策											
3 デコ・カビ等											
4 レンズ効果対策											
4.2 換気					3.0	0.40	2.3	0.38			
1 1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能							3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	1.0	0.33			
4 給気計画											
4.3 運用管理											
1 1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
Q-2 サービス性能							0.30			3.6	
1 機能性						3.4	0.40	4.6	1.00	4.3	
1.1 機能性・使いやすさ				各住戸までGbitクラスのブローバンド（光）が利用可能な環境を整備している	3.0	0.60	5.0	0.60			
1 1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応							5.0	1.00			
3 バリアフリー計画					3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性					4.0	0.40	4.0	0.40			
1 1 広さ感・景観							4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画					4.0	1.00	4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.0	0.31				3.0
2.1 耐震・免震						3.0	0.48				
1 1 耐震性				3.0		0.80					
2 免震・制振性能				3.0		0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0		0.33					
1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		W		3.0		0.29					
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		W		3.0		0.12					
3 配管・配線材の更新必要間隔		W		3.0		0.29					
4 主要設備機器の更新必要間隔		W		3.0		0.29					
2.3 適切な更新											
1 1 床・（屋根）・外壁仕上げ材の更新											
2 配管・配線材の更新											
3 主要設備機器の更新											
2.4 信頼性					3.0	0.19					
1 1 空調・換気設備					3.0	0.20					
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20					
3 電気設備					3.0	0.20					
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20					
5 通信・情報設備					3.0	0.20					

スコアシート				重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
3 対応性・更新性							3.0	0.29	3.3	1.00	3.2	
3.1 空間のゆとり							-	-	3.6	0.50		
1 階高のゆとり									4.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ									3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり									3.0	0.50		
3.3 設備の更新性							3.0	1.00		-		
1 空調配管の更新性							3.0	0.17		-		
2 給排水管の更新性							3.0	0.17		-		
3 電気配線の更新性							3.0	0.11		-		
4 通信配線の更新性							3.0	0.11		-		
5 設備機器の更新性							3.0	0.22		-		
6 バックアップスペースの確保							3.0	0.22		-		
Q-3 室外環境(敷地内)							-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出						G	1.0	0.40		-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮						G	3.0	0.20		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮							3.5	0.40		-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						S	3.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				W		G	4.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性											3.6	
LR-1 エネルギー							-	0.40	-	-	4.6	
1 建物の熱負荷抑制				W			日本住宅性能評価基準省エネルギー等級4をみたしている。	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用							3.0	0.20		-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用				W			3.0	0.50		-		
2.2 自然エネルギーの変換利用				W		S	3.0	0.50		-		
3 設備システムの高効率化				W			潜熱回収型給湯設備を使用している。	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用								-		-	-	
4.1 モニタリング				W				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				W				-	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル							-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護							3.6	0.15		-	3.6	
1.1 節水				W			節水型器具を使用している。	4.0	0.60		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用							3.0	0.40		-		
1 雨水利用システム導入の有無				W			3.0	0.67		-		
2 雑排水再利用システム導入の有無				W			3.0	0.33		-		
2 低環境負荷材							3.5	0.85		-	3.5	
2.1 資源の再利用効率							3.3	0.35		-		
1 躯体材料の再利用効率				W			3.0	0.67		-		
2 非構造材料の再利用効率				W			4.0	0.33		-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材				W			2.0	0.04		-		
2.3 有害物質を含まない材料							5.0	0.08		-		
2.4 既存建築躯体などの再利用				W			3.0	0.18		-		
2.5 部材の再利用可能性				W			乾式間仕切り、断熱材ウレタン吹付等、比較的分別が容易である。	4.0	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回避							3.5	0.18		-		
1 消火剤				W			ハロン消火剤は使用していない。	4.0	0.50		-	
2 断熱材				W			3.0	0.50		-		
3 冷媒				W			-	-		-		
LR-3 敷地外環境							-	0.30	-	-	2.5	
1 大気汚染防止				W			3.0	0.10		-	3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.05		-	3.0	
2.1 騒音							3.0	1.00		-		
2.2 振動							-	-		-		
2.3 悪臭							-	-		-		
3 風害、日照障害の抑制							1.6	0.10		-	1.6	
3.1 風害の抑制							1.0	0.70		-		
3.2 日照障害の抑制							3.0	0.30		-		
4 光害の抑制							3.0	0.05		-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善				W		G	1.0	0.30		-	1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制							3.6	0.40		-	3.6	
6.1 雨水処理負荷抑制				W			浸透枳等により適切な雨水処理負荷抑制を行っている。	5.0	0.30		-	
6.2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.10		-		
6.3 交通負荷抑制							3.0	0.30		-		
6.4 廃棄物処理負荷				W		S	3.0	0.30		-		

LR-1 用途別得点表		集合住宅	—	—	—	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		4,100 m2	—	—	—	5.0
3 設備システムの ERRによる評価		5.0	—	—	—	5
高効率化 個別設備による評価		5.0	—	—	—	
3.1 空調設備		—	—	—	—	—
3.2 換気設備		—	—	—	—	—
3.3 照明設備		5.0	—	—	—	—
3.4 給湯設備		5.0	—	—	—	—
3.5 昇降機設備		3.0	—	—	—	—